

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

# 笠間ファン俱楽部通信

2005夏号 VOL.003



# Kasama

笠間再発見！

## 小京都「笠間」の由縁

メイド・イン・笠間で行こう！／前川農場

夏のイベント情報　観光客に聞いたおすすめのショップ



笠間昔話

昭和初期の八坂神社祇園祭

FAN FAN インタビュー

笠間ふるさと案内人の会／中沢恵二さん

笠間の自然をもっと知ろう！

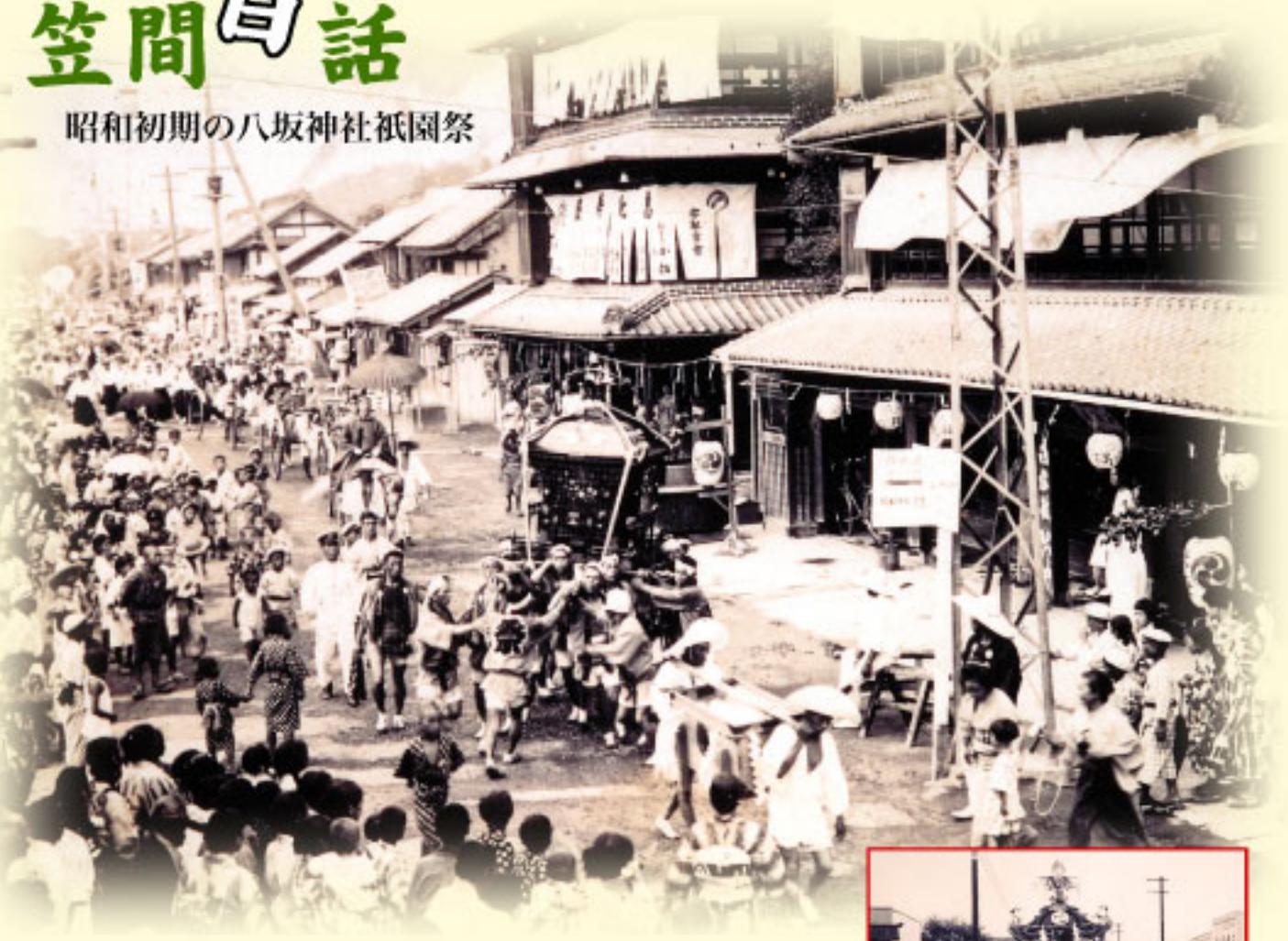
稲田川の鯉、ヒメハルゼミ ほか

ミニミニかさまトピックス

かさま観光大使が決定しました ほか

# 笠間古話

昭和初期の八坂神社祇園祭



## 古

い歴史を誇る街、笠間。笠間には古くから伝わる多くの伝統行事があり、大切に守られています。夏の伝統行事の代表格と言えば八坂神社（大町）の祇園祭が挙げられます。八坂神社は江戸時代には牛頭天王社と言われ、祭神は京都、八坂神社と同じく素盞鳴尊（スサノオノミコト）です。

上の写真は昭和初期の頃の風景です。撮影場所は大町付近で、現在の常陽銀行辺りの高い場所から撮影されたものです。手前右側の大きな建物はホテル井筒屋で、奥隣も旅館です。2階、3階に布を垂らしているのは、神様の載った神輿渡御を上から見てはいけない（罰が当たる）ということから目隠に

しているものです。町の屈強な若衆に担がれた神輿を中心に長い行列が続き、沢山の見物客で賑わう盛大な祭礼だったことが伺えます。

神輿は先代のもので、昭和53年4月25日に市指定文化財に指定されています。現在の神社神輿は昭和33年7月に東京浅草の宮本神輿店で作られたもので、当時は関東一の大神輿と言われ漆塗金箔張りの風格ある豪華さは、今でも関東一を誇る京神輿です。

祭礼は毎年8月の第1土、日、月曜の3日間挙行され、祭り大好きの市民により高橋町通りを中心に神社神輿、町内神輿、そして同好会の神輿が繰り出し、勇壮な神輿渡御が見られます。

写真提供／八坂神社（上）、青木写真（中央右）



三社員初祭（昭和33年）

## 昭和初期という時代 昭和7年（1932年）

2月／船橋柏、井上孝之助「忠臣蔵」の小名正に封版される。（忠臣蔵事件）  
3月／関東軍「關州國」を建国。  
5月／チャップリン来日。  
5月／5・15事件。  
資生堂がアイシャドーを発売。  
キューピーがアオハク「オレンジママーレード」を発売。  
8月／ロス五輪三段跳びで南原宏平が世界新記録で金メダル。  
映画「クーザン」大人気。ワーズ・ミューラー主演。

## 【その他の笠間では…】

昭和5年／活動家萬葉「昭和館」が完成。  
昭和7年／木村武山が大日堂建立を始める。  
同年武山は稻荷神社の図書室の天井画を描く。

# NATURE OF KASAMA

笠間の自然をもっと知ろう！／稲田川の鯉、南指原ほたるの里、ヒメハルゼミ



（写真・左から）稲田川に放流された鯉／三河市内ではホタルも見られる。写真はゲンジボタル／天然記念物のヒメハルゼミ／幼虫からふんしたヒメハルゼミ。

- 自然に恵まれた笠間ですが、逆に失われてしまった美しさを取り戻そうという運動があります。



平成10年から毎年8月の第1日曜日に行われている「稲田鯉まつり」がそれです。稻沼川の支流である稲田川は、石材工場などの影響で残念ながら汚

染されていました。そこで、鯉の泳ぐきれいな川を取り戻そうと始まったのがこの運動です。今では清流に生息する砂むぐりやカジカといった小魚も見られるようになりました。

●笠間駅から八郷方面へ約8km行った「南指原ほたるの里」では、6月中旬から8月中旬にかけてホタルが見られます。観察する時は大声できわいだりせず、地元の人に迷惑をかけないようにご注意ください。

●笠間はまた、太平洋側の分布の北限であることから天然記念物に指定

された「ヒメハルゼミ」が生息することでも知られています。片庭大内の八幡神社を囲むシイの森と、そこから南西に1kmほどの柳巣寺（りょうごんじ）裏山の森の2ヶ所でこのセミが見られます。昭和9年に発祥の地として国指定になりました。セミは毎年梅雨明けの蒸し暑い日に鳴いています。

- 【稲田の鯉まつり】  
三河市まちづくり部水草係（三河市役所建設課  
まちづくりG） ☎ 0295-72-1111（内線177）  
【南指原ほたるの里】  
南指原ほたるの里会員会 ☎ 0295-74-3010（内線1）  
●【ヒメハルゼミ】  
笠間市生涯学習課 ☎ 0295-72-1111（内線272）

## SUMMER EVENT

### 夏のイベント情報



- 笠間日動美術館  
生誕100年 幻想の巨匠 宮本三郎展 6/1(水)～7/18(月)  
アントワーヌ・ブーベル写真展「IMAGES」7/23(土)～9/25(日)
- 車の茅の輪くぐり 6/26(日) 会場：稻荷駐車場
- アマチュア陶芸展 出店者募集  
受付期間 6/25(土)～6/30(木)  
展示会場 茨城県陶芸美術館 2F棟民ギャラリー(入場無料)  
展示期間 7/21(木)～7/30(土) 7月25日は休館
- 茅の輪くぐり 6/30(木) 会場：笠間稻荷神社境内
- 茅の輪くぐり協賛イベント  
6/30(木) 会場：笠間稻荷門前通り
- 献灯祭 8/7(日) 会場：笠間稻荷神社境内

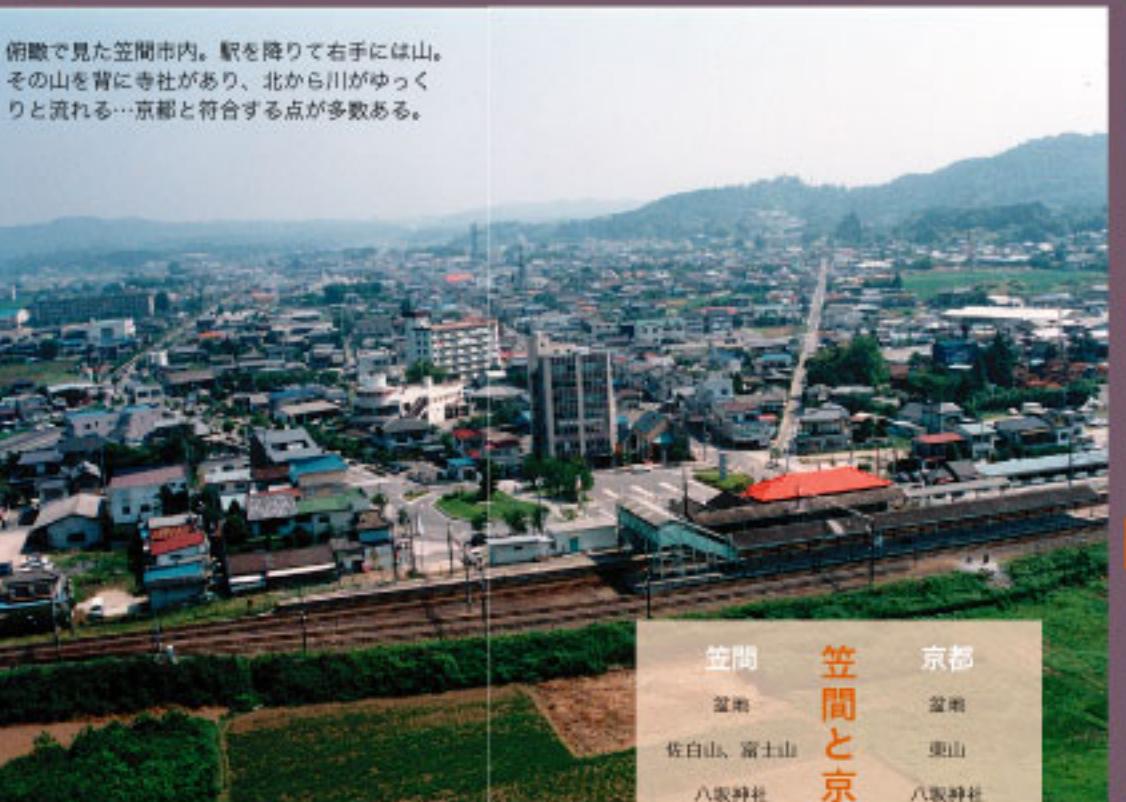
- 祇園祭 八坂神社  
7/30(土) 前日祭  
7/31(日) 祇園神幸大祭  
8/1(月) 遊御祭  
主催：八坂神社祇園祭実行委員会ほか
- 稻田鯉祭り  
8/7(日)  
会場：稻田ふれあい公園
- 十六夜まつり 8/13(土)～15(月) 会場：陶の小径  
各作家が作成した簡灯りに灯をともした演出を行います。
- 第15回 笠間のまつり  
8/16(火) 灯籠流し 会場：亀ヶ橋北公園  
8/20(土) ねぶた&光のオブジェ&神輿パレード  
会場：笠間駅前通り、笠間高校前通り  
主催：笠間のまつり実行委員会、笠間のまつり推進協議会



シリーズ  
笠間再発見！  
VOL03



俯瞰で見た笠間市内。駅を降りて右手には山。その山を背に寺社があり、北から川がゆっくりと流れる…京都と符合する点が多数ある。



笠間と京都の共通点	
笠間	京都
盆地	盆地
佐白山、富士山	東山
八坂神社	八坂神社
真淨寺など いくつかの寺社	清水寺など 多くの寺社
鴨沼川	鴨川
笠間焼	清水焼
笠間稻荷神社	伏見稻荷神社

## 小京都「笠間」の由縁

1 笠間稻荷神社。2.全国の稻荷神社の源本山、伏見稻荷神社。ここはとにかく広く山ひとつが神域になっている。3.笠間の八坂神社。4.祇園祭、山鉾巡行で有名な京都の八坂神社。ここも三基の神奥渡御があり地元氏子が楽しむに狂ぐ。5.伏見稻荷神社の千本鳥居は有名だが、山を巡る道には千本どころではなく四方本の鳥居が建っていて独特の雰囲気を醸し出している。



いったい全国に「小京都」といわれる所はいくつくらいあるのだろうか？おそらく相当の数になるだろう。「京都」という場所は日本人にとって「特別」の思いというか、もっと深い核心の部分で支えと魅力が存在するようである。1970年前後に国鉄のキャンペーンで頭の良い営業マンが「小京都」を誕生させた。笠間もそのひとつで「関東の小京都」とうたっている。今年、京都へ行き街を歩いていて、いくつか「奇妙に共通」するところがあったので考察してみた。まず地形は、盆地であるところが大きな共通点である。これは「小京都」と宣伝しているところでは比較的多いので珍しくもない。京都駅を降りて、右側の東山付近には、四条通りに八坂神社があり、清水

寺をはじめ多くの寺社が山を背に配置されている。笠間駅を降りて同じく東側には佐白山、富士山（つづじ山）があり京都と全く同じで八坂神社があり、真淨寺、月宗寺をはじめいくつかの寺社がある。京都の鴨川と笠間の鴨沼川がそれぞれ北からゆったりと流れ込んでいる。産業では、清水焼と同じく笠間焼がある。これも市街地の東方で興ったわけである。さらに、有名な夏の山への送り火のひとつは現在は実施されていないが、つづじ山のぼんぼりの灯りにびったり、方向も風景も符合する。八坂神社だけでなく京都の伏見稻荷に対して、同じく日本三大稻荷を称する笠間稻荷神社がある。国鉄時代、水戸線設置の時に笠間駅の場所は当初、稻荷神社付近に計画されていたが、

宿泊客が減るなどの理由で南側の現在地になった経緯がある。奇しくも、現在地に笠間駅があることによって、本当に京都の街をコンパクトにした「風景」になっている。北西の地形的に重要な場所（鬼門などと呼ばれる）にも寺があり、多重塔が建っている。

まだまだ本格的に調査もしていないので、もっと面白い「奇妙な符合」が笠間と京都にはあるのかかもしれない。デジャブ(※)ではないが、普段当たり前のように見ている笠間の風景が、日本文化の中心的存在の京都と酷似しているのである。今回、初春の京都を訪れ、京都タワーに登った。そして100mの高さから京都を見おろした時、改めて笠間との風景が投影されて鳥肌が立ったのだ。

※デジャブ…それまでに一度も経験したことがないのに、かつて経験したことがあるように感じること。馳走感。

2005年度の



2005年度の「かさま観光大使」が決定しました。写真左から2年目の甲本さん、そして軽部さん、森さんの3人です。本誌では笠間について①これまでに訪れた回数、②必要だと思うもの、③デートしたい場所、④印象、⑤好きな店の5項目についてインタビュー。彼女たちの素顔にせまりました。これからは様々なイベント等で彼女たちが活躍することでようやくお願いします。

甲本さん  
①種田神社の参拝で小さい頃から何十回と。  
②駅前にぎやかさ。  
③門前通りなどで食べ歩きゲート。  
④四方を山に囲まれていて清々しい。人の温かさを感じます。  
⑤市役所がお氣に入り。  
⑥場所によって様々な趣があると思います。  
⑦ギャラリーロードの「ものみ茶屋」。

軽部さん  
①2回。  
②良いところを持っているにもかかわらず、PRが足りないと感じます。  
③笠間芸術の森公園周辺。  
④こじんまりとしていて良い所。人々が親切。  
⑤市役所がお氣に入り。  
⑥場所によって様々な趣があると思います。  
⑦ギャラリーロードの「ものみ茶屋」。

## 京都の「あとのまつり」とは？

京都の話題が出たので豆知識をひとつ。現在「あとのまつり」という言葉には「手遅れ」的なマイナスイメージがありますよね。しかし、京都の祇園祭で使われる「あとのまつり」とは、正反対の意味があるのを知っていますか？華やかな山鉾巡行などに対し、三基の神輿が繰り出す比較的地元の氏子が中心の渡御を、地元の人は「あとのまつり」と言つて、とても楽しみにしているのです。つまり、京都の人にとって「あとのまつり」とは「さあ、本番だ」というわくわくする気持ちを表現している言葉でもあるのです。

●笠間ふるさと案内人の会／中沢恵二さん●

## 今後はゴミの落ちていない、花の咲いているまちにしたいです。

●笠間は、おいしい所がたくさんあります。特にそば屋さんは充実していますね。「そばのまち」になっても良いと思います。例えば笠間の自然薯、これを食べられるお店が無い。その自然薯をそばの上にのせて、名産品にしたらどうでしょう。それから米粉で作るパンとか。これは独特の粘りや硬さがあって食感がいいんです。どこかで作らないかなあと思っています。

●国道355号なり50号なりで、笠間へ来ますよね。「ようこそ笠間へ」という看板がある、そして車で走っていて観光客がどう思うかです。風光明媚

と思うのか、田舎くさいと思うのか。そういう意味でも閉店している所があると、見た目にも淋しい街並になってしまいますねえ。

●ふるさと案内人をやって2年ですが、工芸の丘にある高野公男記念碑の所で、泣いていたお客様は印象的でした。歌に思い出がたくさんあって、いろんな事を想い出したそうです。その後、とっても感謝されました。

●笠間は緑が豊富で、のどかさがあります。そこが大好きです。今後はゴミの落ちていない、花の咲いているまちにしたいですね。特別に清掃の日



### FAN FAN インタビュー

#### (プロフィール)

昭和51年笠間生まれ、笠間育ちの28才。現在、友部のギフトショップに勤務。趣味は料理で、作るのも食べるのも好きで、暇をみては美味しい所を見つけて食べ歩きをしている食の達人。ボランティア活動も案内人の他にも、文化財保護協会の理事、笠間をよくする市議会議員等、積極的に参加している。

を設けなくても、いつも誰でもゴミが落ちていたら拾う。ゴミが落ちてる所というのは犯罪が多いんです。笠間は平和な、安らげるまちであって欲しいですからね。

笠間ふるさと案内人の会について→平成13年4月に発足。笠間の魅力の紹介と観光客との交流、郷土愛の運営(かんよう)と、まちづくりのために作られたボランティア組織。現在会員数19名で、観光客への市内観光ガイド、観光シーズン巡回案内所での観光案内等を行っている。設置場所は観光協会内。入会希望者は随時募集中。

## 観光客に聞いたおすすめショップ

このコーナーでは観光客の皆さんにお聞きした、おすすめのショップを紹介します。



旬の味にこだわりました！

### 季節料理 樽



お酒は「飲み飽きないもの、料理を引き立てるものをモットーに。女性のお客様には女性限定の姫会席や姫御膳が人気です。

住所／笠間芸術の森公園北人口前  
Tel 0296-72-1358 月曜定休  
昼の部AM11:00～PM2:00・夜の部PM5:00～PM10:00

土と親しみ宿と語る

### 窯元 大津晃窯



手ひねり、ロクロ、絵付けが楽しめる陶芸教室は350名を収容可能。年末年始を除いて毎日実施されています。大型駐車場も完備。

住所／茨城県笠間市手越68  
Tel 0296-72-4323  
<http://www.ohtsukouyou.com> info@ohtsukouyou.com



土・日・火のみ営業の酒蔵にあるお店

### 茶寮 蔵人



笠間稻荷神社正面にある酒蔵、笹目京兵衛商店内にあるお店です。人気の週替わりメニューは月曜・火曜のみ完全予約制となります。

住所／笠間稻荷神社正面(笹目京兵衛商店内)  
Tel 0296-72-0021 <http://www.matsuimidori.com>  
営業／土・日・月・火 AM11:00～PM4:30



## 佐城小にインディドライバーが訪問



全員たちと気さくに話す  
ブライアン・ハーダ調子。

インディカードライバーのブライアン・ハーダ調子が笠間市立佐城小学校を訪問しました。この訪問はツイリンクもてぎで行われたインディジャパン300マイルの開催を前に、開レースのPRを兼ねて行われたものです。子供たちの笑顔が印象的でした。



子供らしい貴重な和気あいあい。

# Made in KASAMA

笠間には人知れず、こだわって、いいものを作っている人たちがたくさんいます。そんな人たちを応援する意味を込めて、このコーナーを始めました。これを読んで気に入ってくれたなら、ぜひ自分の足で訪ねてみてください。きっと素晴らしい出会いが、あなたを待っていることでしょう。



## 自然の摂理に反する酪農は出来なかつたんです。

電車に乗って水戸方面から笠間に来ると、笠間駅手前で茶色の牛が放牧されているのが見えてきます。酪農一筋42年のご主人、前川勤一さんが経営されている前川農場がそれです。昭和14年笠間に生まれ、笠間に育つ65才の前川さん。元々はホルスタインを飼育していましたが、人間の健康、そして牛の健康を無視した酪農のあり方に、どうしても納得出来ませんでした。そしてその結果、酪農業界からつまはじきにされてしましました。それでも良い牛乳作りにこだわったのには理由があります。三男の洋さんが5歳で小児糖尿病を患い、平成4年にわずか18歳で亡くなってしまったのです。「その間ひたすら健康について考えてきました。そうしたら自然の摂理に反するよう

な酪農は出来なくなってしまったんです」と前川さんが話してくれました。昭和62年にホルスタインから茶色い毛の乳牛、ジャージー種に切り換いました。ジャージーはイギリス原産ですが、日本の風土に合っていたのです。そして何よりも、体は小さく乳量は少ないけど脂肪分が多く、たんぱく質やカルシウム、カロテンをふんだんに含む高品質な乳を出してくれるこの牛が、前川さんの飼育法にぴったりマッチしていたのです。そんなジャージーの牛乳は、コクがあってとっても美味しいです。

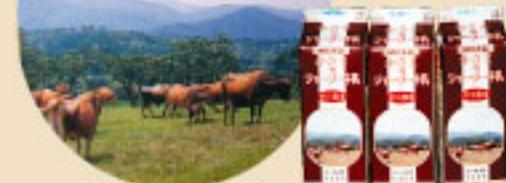
前川さんの生活は年中無休です。毎朝6時に起きて搾乳。その牛乳は直ちに、農場内に作った「日本で一番小さいミルクプラント」で低温殺菌（62～65℃で30分）し、

### その1／前川農場（笠間市下市毛）

住所／茨城県笠間市下市毛1478-1

電話／0296-72-4295

▼パッケージの写真は天折した三男の洋さんが撮影したもの。



紙パックに詰めます。安全にはとことんこだわっています。牛は放牧して、その草を食べさせているので、季節によって牛乳の味が変わります。それが本来の味なのです。ところが今は、常に高脂肪を確保するため牛を身動き出来ない牛舎へ閉じ込め、冷房で冬の状態にし、貯蔵飼料を与える飼育方法が主流です。牛が短命で変な病気になるのは、そこに原因があります。自宅の小さなミルクプラントで作る前川農場の牛乳は、残念ながら量があまり採れません。牧場から半径20km内の、のぼりが立っている小売店のほか、通販で販売されています。そしてそのパッケージには、天折した洋さんが撮影したジャージーの写真が、跨らしげに飾られています。

## みなさまの声、いただきました。

たくさんのご意見、ご感想をいただきました。ありがとうございます。以下にその一部を紹介させていただきます。

●焼き物が好きな連中と笠間の窯場を借りて年数回陶器作りを楽しんでいます。そんな関係で笠間は小生のふるさとの延長線上にある心からホッとくつろげる土地となっています。ただ笠間は欲が無さ過ぎるというか市民がテンテンバラバラというか、観光的資源を遊ばせているという感じがします。笠間を全国区にするための市民の心意気がいまひとつ伝わってきません。ファン俱乐部が全国区づくりに少しでも寄与できるといいですね。

(茨城県・男性)

●関西より2年前に引っ越してきました。美術館の人も大好きです。かさまをもっと好きになれそう。

(茨城県・女性)

●いつも笠間を訪れるたび新鮮なエネルギーを感じます。田舎の安らぎと先進的文化をうまく融合させた魅力ある町づくりが進められています。齊藤先生を尊敬している1人です。先生を通して笠間のファンをささえていただきたいです。

(茨城県・女性)

●クラインガルテンに入れて頂き大変お世話になっております。以前から家内が陶芸が好きなため年に1、2回は笠間にきておりましたが、1年間クラインガルテンに入れて頂き笠間は大変にすばらしい所であることを実感致しました。

(東京都・男性)

●誕生した笠間ファン俱乐部がスクスクと育つよう願っています。ファンの持っている力をうまく活用してください。

(茨城県・男性)



## 笠間の磁場と“田舎力”



飯沼勇一〇コピーライター、東京コピーライターズ・クラブ会員、(株)アド・エンジニアーズ専務取締役

人生はとにかく、思いもよらぬ出会いで動くことが多い。聞いてみれば、夫婦だってそういうケースが多いようだ。実は笠間との出会いも、その類だった。

「商工会主催のセミナー講師をやってくれないか？」ある日、大先輩から電話があった。10回のシリーズだという。他の講師はビッグネームばかりだった。最初は戻込みした。だが「長野県の小布施という町の話だったらできます」とお答えした。実は、町おこしのサクセスモデルになった小布施は、出身地だ。「それで決まり」ということで困らずも、講師をお引き受けすることになった。

しかし、笠間のことを何も知ら

ない。知らずに話ができるほど鉄面皮ではない。開催時までは間があったので、ともかく徹底的に取材することにした。

とかく人は自分達の魅力に気づかないことが多い。かつて、観光地の活性化プロジェクトに参加した時もそうだった。外部から見れば大変な財産なのに、ご当地の方々は無価値と思ってらっしゃる。ともかく歩き回って、皮膚で空気を感じることだ。

商工会の事務局の方々にご案内いただいたり、単独取材をしたり、3回ほど笠間に行った。そこで発見したのは、自然や歴史や美術もざることながら、“手づくり”の温もりだった。勿論ヒトの情も含めて、

である。“手づくりの郷”“癒しの郷”。そんなことをイメージしながら、セミナーを終了した。

しかし、笠間通いは終了にならなかった。陶炎祭、匠のまつり、そして何もなくとも…。何だか笠間が気に掛かる。他人に紹介したくなる。かくして、いまや笠間人達も知らないディープスポットもカバーする「笠間通」になった。

どうも笠間には目に見えない磁場があるらしい。それは歩ったりした時間や“手づくりの癒し”つまり、古き、良き日本が持つ田舎力なのかも知れない。そんなことを思いつつ、笠間に足が向く最近である。

文・飯沼勇一

会員募集中&  
ご意見、ご感想もお待ちしています！

笠間ファン俱楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人（外の目）が多くの笠間人（内の目）と交流できる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、是非皆さんお申し込み下さい。

- 1 笠間を好きな人。
  - 2 笠間を応援したい人。
  - 3 笠間をふるさとにしたい人。
  - 4 笠間人（かさまびと）と交流したい人。
  - 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。
- とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間者への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込み下さい。

笠間ファン俱楽部 設立総会

10月10日(土)開催予定です。詳細は次号にて。

笠間市産業建設部商工観光課

〒309-1698 美濃加茂市石井717

TEL 0296-72-1111 FAX 0296-72-9591

E-mail kasamafan@city.kasama.lbaraku.jp

## 笠間アクセスマップ

## 電車からのアクセス

東京方面から  
上野→(JR常磐線70分)→茨城→JR水戸線10分→笠間  
東北方面から  
郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→JR水戸線50分→笠間

## 高速バスからのアクセス

東京方面から(1日4往復)  
東京駅八重洲南口(日本橋口着)→(常磐自動車道ほか105分)→笠間新幹線ほか

## 車からのアクセス

東京方面から  
三郷→(常磐自動車道→北関東自動車道50分)→  
茨城IC→(国道355号5分)→笠間



笠間市基本データ／人口29,673人／面積131.61km<sup>2</sup>  
位置 東経140度14分 北緯36度22分／標高62.69m

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

